

27年3月議会

南保育園民間委託について

質問

次に、市長の意識については最後に回します。

南保育園民間委託についてです。

市長は一貫して28年度民営化という答弁がなされていましたが、今回の予定表を見ると、29年度に民営化という形になっています。スケジュール及び方針変更の指示を受けたのはいつだったのか、また昨年3月の議案取り下げ後、保護者にスケジュールが白紙になったと説明したとのことですが、その後市長からはどのような指示を受けていたのか、お聞かせください。

春藤尚久こども部長

南保育園の民営化につきましては、施設の老朽化や人件費の増大等の課題があるとともに、公立保育所の運営に関する国等からの負担金が廃止され、財政的に運営が厳しく、全国的に公立保育所の民営化が進んでいること、また、子ども・子育て支援事業計画を策定し、待機児童の解消、留守家庭児童育成室の対象年齢の拡大、一時預かり事業の充実などに積極的に取り組んでいくためには、財源の確保に努めなければならないこと等から、早期に民営化する必要があると考えております。

しかしながら、保護者への説明等で一定の期間を要し、公立保育所民営化実施計画に基づく円滑な移行を行うためには、事業者への移管時期を、当初の予定より1年先送りした平成29年度（2017年度）とすることが適切であると所管部として判断したものでございます。

また、今定例会に公立保育所民営化に関する条例案等を提案させていただきましたのは、南保育園での説明会の開催や、民営化Q&Aの配布などにより、所管部としては保護者への説明は尽くしたと判断し、民営化スケジュールも含めて平成27年度（2015年度）当初予算編成過程の中で検討を進め、決定したものでございます。

市長から、南保育園の民営化スケジュール等の見直しについて指示はございませんでしたが、本年1月末に行われた平成27年度当初予算に係る市長協議において、所管部から民営化を円滑に進めるために、南保育園の民営化スケジュールを1年先送りしたいとの説明を行い、了解を得たものでございます。

また、昨年3月定例会で、公立保育所民営化関連条例案を取り下げた後には、市長から、保護者へ丁寧な説明を尽くし、できるだけ早期に再提案できるように努めることとの指示がございました。

以上でございます。

質問

市長からの指示はなかったとのことなんですけども、市長、私は昨年9月定例会において28年度民営化は物理的に不可能であると申し上げました。あの時点で29年度民営化という方針を市長が出されて、その方向で進めるということを保護者に説明をしておれば、一定理解を得られたのではないかなと思います。なぜ保護者の心情を逆なでするようなことをするのか。今回三つ伺います。三つ、きちんと答えてくださいね。

一つ目、昨年3月に民営化の案件を取り下げた理由、二つ目、民営化の時期を1年ずらした理由、三つ目、最終判断が1月末までおくれた理由、この三つについてお聞かせください。

井上哲也市長

公立保育所の民営化について、先ほど担当部長から御答弁申し上げましたあたり、まず、保護者へ丁寧にさせていただきたいというのが私の考え方でございます。

ですから、取り下げた理由は、議会のいろいろな御議論の中で、やはり市民の皆さんに丁寧に説明するためには、まずおろしてから説明をしなければいけないということで、取り下げをさせていただきました。

そして、ずらした理由でございますけど、やっぱり、9月議会では出せなかった、12月議会ではぜひ出したかったんですが、これも保護者の理解が得られなかったもので、そういったことでずらしていかなければいけないというのは、担当者の考え方でございます。

そして、1月時点でのというのは、12月議会で提案することができなかったもので、これは1月時点ではやっぱり1年ずれるという判断をさせていただきました。

質問

昨年の3月の取り下げについては、市長の判断だったというふうに伺ってたんです。その後、説明を尽くしなさいよとあって、ただ、その担当部局が説明しようにも、市長が市長の責任で議案を取り下げて、また、進めるのは市長の責任じゃないんですか。その結果、1月末に判断して、ぎりぎりになって保護者に説明するから、11月に1度説明に上がったとのことなんですけども、そのときはまだ方針が出てないから説明できないということなんで、方針が決まってないところで何を説明するんだっていう話じゃないですか。なぜ早急に指示を出して、もっと丁寧に進めるような努力を市長御自身がされないんでしょうか。保護者の心情について理解されてますか。

私はね、民営化については賛成なんですよ。ただ、大事なのは保護者の理解、市長もおっしゃってますけど、市長は口で保護者理解を得られるようにって言ってますけど、実際の市長の判断がおくれたせいで全然理解を得られてないんですよ、その点についてどう思いますか。

井上哲也市長

方針はできるだけ早くということの方針でございまして、市民の皆さん方の理解を得られるために、私が方針をおくらせただけから理解が得られてないということではなくて、できるだけ早い時期に丁寧に説明をさせていただいて、提案できるようにしたいというのが私の考え方でございまして、私の意を受けて職員がすることは私の責任でさせていただいたということでございます。

意見

市長のね、できるだけ早い時期にということの考え方と、保護者の考え方が大きくずれてるということがよくわかりました。市長の考えのずれについて改めて理解できたので、これはこれでいいです。